

1:出席者

加藤^a・大西^b・岡部・片山・千葉・能登・吉田^c・大塚^{c,d}

(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2:報告

- 核データ国際会議(筑波)に10月8日~13日の日程で参加する。(加藤)
- 去る7月はじめに年次報告を文部省に提出した。核データ事業費は来年度以降なくなる予定であり、科研費による予算確保を考えている。(加藤)
- BNL-NNDCのMcLane氏が10月22日に来札の予定である。(加藤)
- 日本原子力学会が9月19日~21日の日程で北大で行なわれる。(加藤)
- COE 研究員に内藤氏(理研)を採用する方向で検討中である。(加藤)
- 今年度20編の変換を目標にしており、うち6編に着手している。直接テキストを編集する方法とエディタを用いた方法を併用している。(吉田)
- 大型計算機センターのVOS3が来年3月1日をもって廃止される。古いデータの変換をどうするか考える必要がある。(千葉)
- ウェブを用いたエディタの試作品が完成した。(大塚)
- 辞書作業部会でマニュアルやエディタの整備、H型辞書の作成、著者校正の実現、変換規則の確立について議論した。(能登)

3:議論

- ウェブエディタの運用
今年度試用しながら経験を積んで改良する。
- コーディング完成の流れ
従来の2人同時にコーディングする方法は能率が悪いので、これをコーディング者とチェック者に分け、さらに運営委員会にはどちらか1名が結果報告のために参加する。チェック者も必ず論文を読む。
- RCNPからのデータ提供依頼について
RCNPへの依頼を同センターの研究計画委員会を通じて行なう。

4:次回

2001年10月29日 17:30より